

回 覧



値小だより

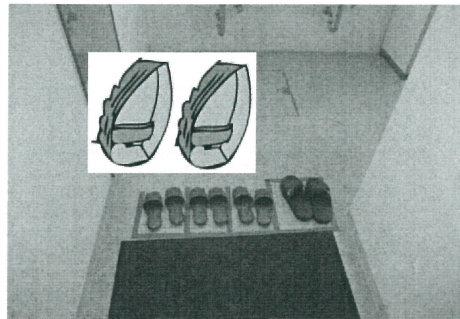
島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年9月23日 第13号
校長 酒井元治

礼儀(マナー)について考えよう。

礼儀(マナー)は誰のため?

6年の修学旅行、5年の宿泊学習を前に全校朝会で礼儀について話をしました。まずは、トイレのスリッパ。昔から履き物を船に例えて、外から内側に向けて



つま先がある様子を「入り船」、逆向きを「出船」と言ってきました。外から玄関に入るときは「入り船」、もちろん「出船の向き」に直して並べるのが礼儀。

次に話したのが、「食」の礼儀。箸づかいについて話をしました。どんな食の文化を持った国にも、そのお国ならではのマナーはあるもの。

その一例として、「嫌い箸」を取り上げました。「ねぶり箸」「たたき箸」「寄せ箸」「刺し箸」…。まだまだある「嫌い箸」ですが、どうしてこれがよくない礼儀なのか？一緒に食べている周囲の人に嫌な思いをさせたり、食事を作ってくれた人に対して失礼な態度に

島から日本一楽しい学校を
～みんながしまんできる学校～

きらいばし

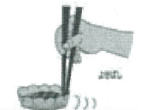
礼儀(れいぎ)について考えよう



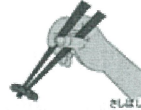
ねぶりばし



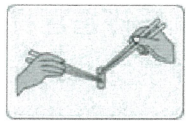
たたきばし



よせばし



さしばし



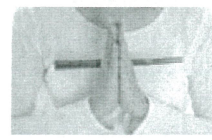
あわせばし



ほとけばし



まよいはし



おがみばし

見えてしまったりするからです。

つまり、礼儀(マナー)は、周囲の人に対する気配りであり、優しさです。それと同時に、自分の所作を美しく見せるものでもあります。

修学旅行、宿泊学習はそういったマナーの実践の場でもあり、他の自分の行動を見直す実践の場でもあります。

自分の殻を破れ! チャレンジ、修学旅行

先週、9月14日(水)から、16日(金)の2泊3日、6年生10名(分校含む)と修学旅行に行ってきました。コースは以下の通り。

14日

佐世保～佐賀県立宇宙科学館(武雄市)～島原城～雲仙岳災害記念館～雲仙泊

15日

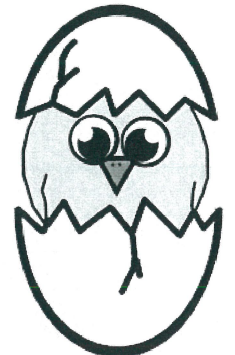
雲仙～平和公園(爆心地、原爆資料館)～長崎市内班別行動～長崎歴史文化博物館～長崎市内ホテル泊

16日

長崎市～三川内焼伝統産業会館(絵付け体験)～佐世保

6年生は事前に私が朝会で話していた「礼儀(マナー)」のこともしっかり覚えていて、誰に迷惑をかけることもなく、しっかりと行動できました。

私が、修学旅行に行くにあたって6年生に課した課題は一つ。「自分の殻を破ること。失敗してもいいからチャレンジすること。」です。値小だより・前号でもお話ししたように、小値賀の子どもたちの良さは素直さ。勉強でも、スポーツでもこの素直さは大切なもの、(例えはよくないかもしれませんが)生きていく上での武器となります。そのことに加え、伸ばしたい力は表現すること。自分を堂々と表現し、自分の口で自分の考えを伝えられること。本校の子どもたちを見ていると、友だちの様子を見取ることはよくできています。友だちの様子をうかがって、飛び出ないようにしようという意識が働き、自分で手を挙げて発言しようとならない、自分から思い切って行動しようとならないことが多々見られます。無論、他人の様子をうかがい行動を考えるとするのはすばらしい力です。私の好きな、日本人らしい力と言ってもいいかもしれません。しかし、これからの世の中



に出ていく子どもたちにはこの殻を破ってほしい。そんな力もつけて大人にしたいと考えます。修学旅行はこの殻を破るチャンスととらえました。長崎の町中で班ごとに行動するとき道に聞かなければいけない、乗ろうとしている電車が間違っていないか確かめないといけない、小値賀では知らない人に道を聞くなんてないことです。どんどんその経験をしてほしい。そんな話をしました。

そして、やってくれました**6年生**。(^ _ ^)v

しっかりと、見ず知らずの人に道を聞き、お礼を言ってグループで決めたコースを自分たちだけで回っていました。途中途中で先回りしたり、後ろからそっと見ていたりしたのですが、堂々とした態度とりっぱな対応でした。電車乗り場では、密かに逆方向の電車に乗らないかなと思っていた私の期待をよそに、間違えないで市内をまわることが

できました。後で聞いてみると、ほとんどの子が見ず知らずの人と会話を交わすことができたようです。また、ここではチャンスがなかった子ども、他の場面で自分から行動を起こすことがあり、大成功の修学旅行でした。修学旅行を終えて、小値賀港に着いてから「自分の殻を破ることができたと思う人？」と尋ねると、しっかりと全員が手を挙げ、自信満々の笑顔でした。



あとは、今後の学校生活に生かすこと。

他人を見て、一歩引くのではなく、他人を見て一歩前に出ること。

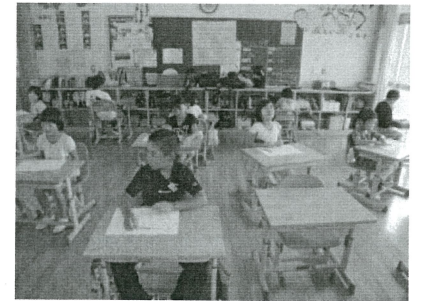
みんなが尻込みするようなら、ここは一発自分が雰囲気をつくってやるという気持ちを持つこと。

例え、そこで笑われることがあっても、「この笑いは俺がとったんだ！」と思えるぐらいの図太さを持つこと。

この話で修学旅行を終えました。

さあ、一皮脱いだ**6年生**に期待です。

校長検定実施中

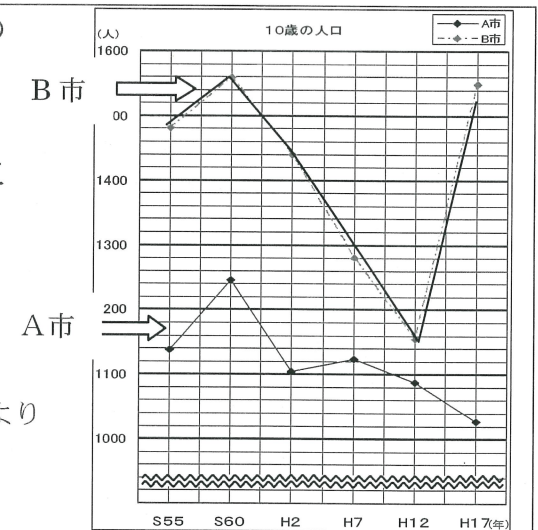


夏休み前に子どもたちと約束していた校長検定を始めました。夏休み明けの**9月**は**1学期**の復習。今回は算数に限っての検定です。朝の時間、私が教室にお邪魔して、私が作った実力テストを解きます。**90点**以上が合格。残念ながら合格できなかった子には追試が待っています。現在**4年生**まで実施したところです。**3年生**までは半数以上が**1回**で合格できていましたが、**4年以上**となるとそうもいかないようです。**4年生**はこんな問題もあります。保護者のみなさん、地域のみなさん**4年生**になったつもりで解いてみてください。

右のグラフはA市とB市の**10歳**の人口のうつりかわりを表したものです。これを見て、わかったことを発表します。グラフを見て、わかったことや気づいたことを**3つ**書きましょう。

回答例

- ・ A、B両市ともS60年がピークであること
- ・ B市はS60年より減少していたが、H12年より増加していること
- ・ 全体的にA市が少ないこと など



お詫び

昨年度行われた「学習発表会」ですが、実施後の反省として、各学年とも行事等に追われ、普段の学習に支障をきたすとの意見が職員の大半を占めました。本校は、地域のご協力もあり様々な体験活動で充実したカリキュラムが実施されているところですが、新たに時間を要する行事等の導入にはなかなか難しいところがあります。期待をされていた保護者・地域の方もたくさんいらっしやっただと思いますが、今年度は実施を見送ることに決定いたしました。たいへん申し訳ありません。なお、それぞれの学年のまとめについては、**2月頃**の授業参観で取り上げさせていただく予定です。ご理解とご協力をお願いいたします。

